

# 社会貢献教育とは？

～社会貢献教育を取り巻く現状と実践～

**本資料では、社会貢献教育が扱う領域とその役割について、また弊協会の提供する社会貢献教育プログラムの位置付けとその概要について説明しています。**

# 寄付とボランティアは 個人ができる社会貢献の両輪です。

社会貢献教育とは、社会貢献について、子どもたちが楽しみながら考え、体験する教育プログラムです。教室で完結する「疑似体験」型から年間を通じて体験するものまで様々なモデルがあります。

日本ファンドレイジング協会では、2010年から社会貢献教育プログラムを提供しています。

大切なことは、子どものうちから、「自分の価値観で支援先を選択する楽しさ」「支援することで達成感を得る感覚」を体感してもらうこと。このことを通じて、自分にはこの社会でかけがえのない役割があるという、「自己肯定感」を養います。

また、社会貢献教育を通じて、教科の枠を超えて地域と学校の相乗効果が生まれ、子どもの人格的な成長にもつながる点は、諸外国でも一般的です。



# 社会貢献教育のポイント

1.

課題を知ることによって自分の役割に気づく。そのことが自己肯定感の向上につながる可能性がある

2.

多様な価値観に基づく、思考・感じ方・行為の選択を認める

3.

選択して行動した結果、どんな変化をもたらされるかを実感できる

## 社会貢献教育

(社会課題を考える教育プログラム)

- ・新・貿易ゲーム
- ・世界がもし100人の村だったら
- ・パーム油のはなし
- ・愛・シンパシーワークショップ
- ・世界の飢餓と私の食：基礎編
- ・人権グローバル教育ワークショップ
- ・夏の体験ボランティア など

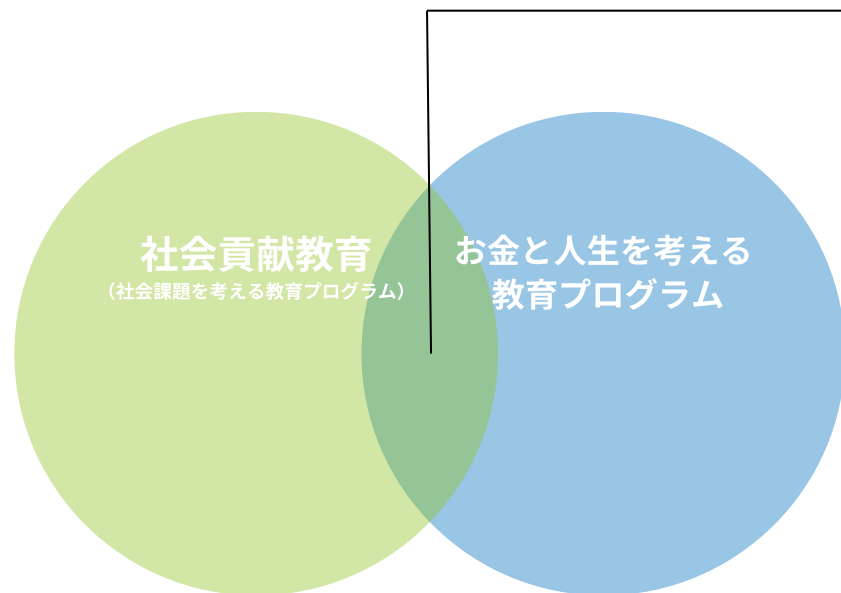
出典：日本ファンドレイジング協会『寄付教育調査報告書』p.6

本見取り図は2015年に発行された『寄付教育調査報告書』において、日本の社会貢献教育・寄付教育の全体感をまとめたものである。

## お金と人生を考える 教育プログラム

- ・ハッピーマネー教室
- ・金銭基礎教育  
「MoneyConnection」
- ・ライフプランニング授業
- ・カタリ場 など

社会貢献教育は「**社会課題を考える教育プログラム**」として広く分類でき、すでに様々なプログラムが存在しています。また、隣接する領域として「**お金と人生を考える教育プログラム**」もあり、こちらも多種多様な選択肢が存在します。



## 寄付教育プログラム

- 子ども助成金審査
- あしなが学生募金
- 名フィル子どもエール基金
- 寄付育プロジェクト など

隣接領域の教育プログラム | 人権教育 福祉教育  
キャリア教育 環境教育 ボランティア教育など・・・

出典：日本ファンドレイジング協会 『寄付教育調査報告書』 p.6  
本見取り図は2015年に発行された『寄付教育調査報告書』において、日本の社会貢献教育・寄付教育の全体感をまとめたものである。

「社会貢献教育」と「お金と人生を考える教育プログラム」が重なる領域は「寄付教育」として位置付けられます。“**お金（寄付）を通じて、社会課題を考えることができる**”プログラムです。



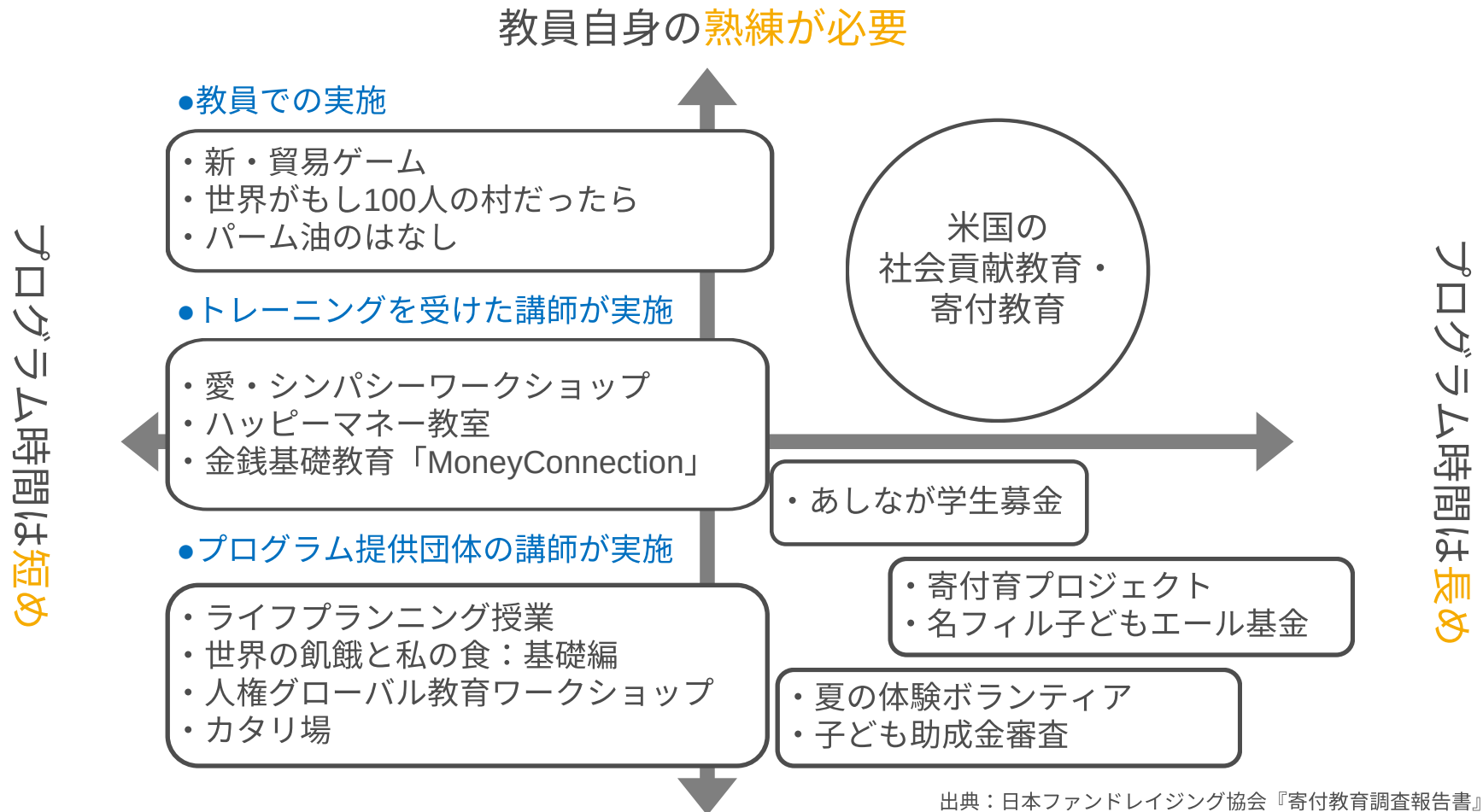
出典：日本ファンドレイジング協会『寄付教育調査報告書』p.6  
本見取り図は2015年に発行された『寄付教育調査報告書』において、日本の社会貢献教育・寄付教育の全体感をまとめたものである。

弊協会では、寄付教育プログラムを中心に、**4種類のプログラム提供**を行なっています。



# 社会貢献教育プログラムの導入の類型（プログラム提供者と時間）

社会貢献教育プログラムはプログラムに必要な時間、教員自身の熟練度から大きく下記のように分類することができます。



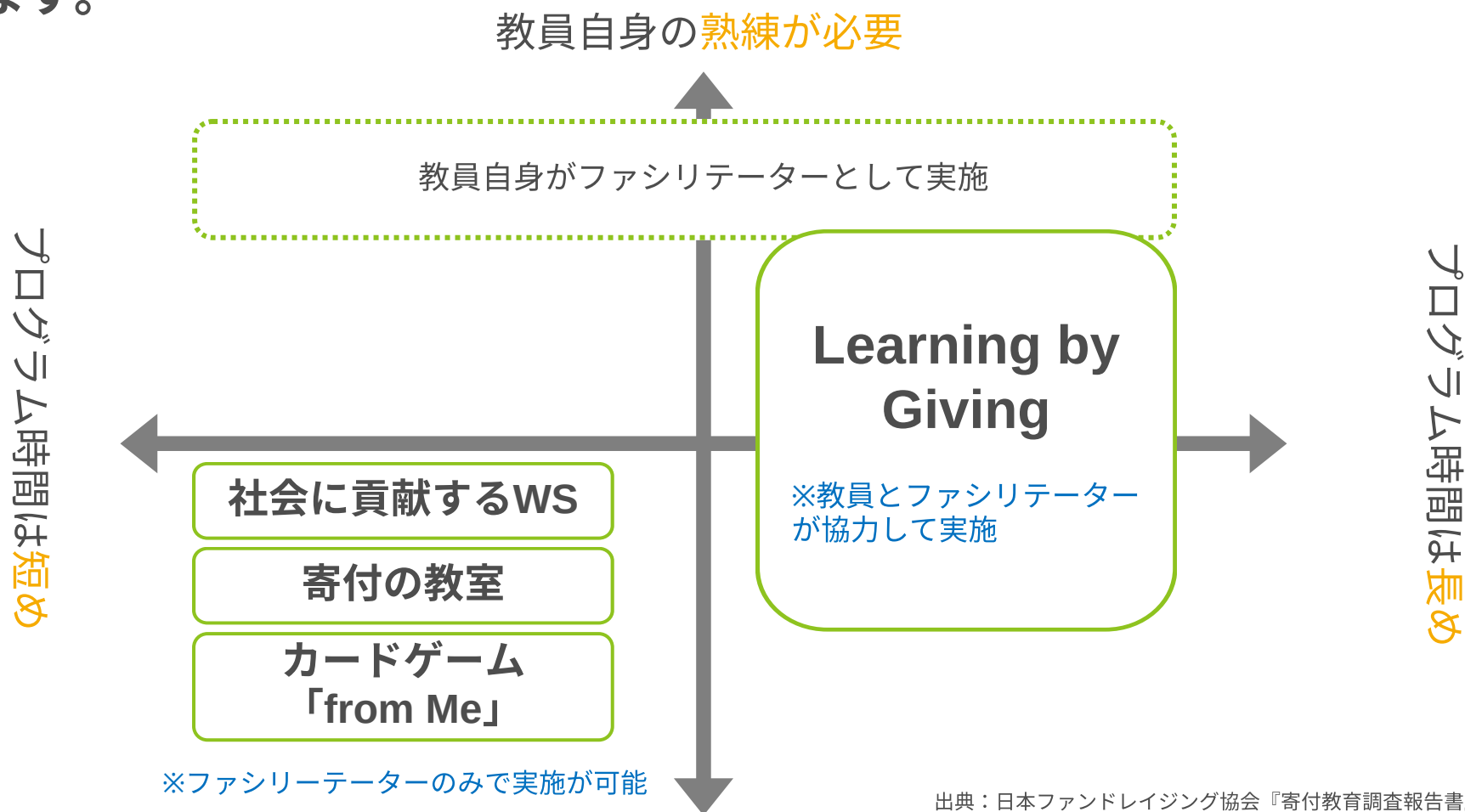
出典：日本ファンドレイジング協会『寄付教育調査報告書』p.7

教員自身の熟練は必要としない

©日本ファンドレイジング協会

# 社会貢献教育プログラムの導入の類型（プログラム提供者と時間）

弊協会の社会貢献教育プログラムは下記のように位置付けられます。  
教員自身がファシリテーターとしてプログラム提供を行うケースも存在します。



出典：日本ファンドレイジング協会『寄付教育調査報告書』p.7

教員自身の熟練は必要としない

# 日本ファンドレイジング協会の社会貢献教育プログラム





# 日本ファンドレイジング協会の社会貢献教育プログラム（1日程）

いずれも、「トレーニングを受けた講師（社会貢献教育ファシリテーター）が実施」するプログラムです。習得に必要な時間は10時間前後で、教員の方の取得も可能です。



## ✔ 寄付の教室 （2010年12月より提供開始）

2時限・90分

教室での寄付の模擬体験



## ✔ 社会に貢献するワークショップ （2015年6月より提供開始）

2時限・90分（1時限ごとに分割可能）

社会に貢献することを個人の経験に根差して考えるワークショップ



## ✔ カードゲーム「from Me」 （2023年2月より提供開始）

2時限・90分

お金の使い方とウェルビーイングを体感できる  
カードゲーム

# 日本ファンドレイジング協会の社会貢献教育プログラム（応用）



## ☑ Learning by Giving

(2016年9月より提供開始)

10時限～

実際のお金を寄付することを通じて  
NPOや社会の課題を解決することを  
学ぶ実践型プログラム

### Learning by Givingの実施要件：

- ①既に自校で寄付などの社会貢献の取り組みを行っている
- ②JFRAの単発プログラムを複数回実施している

2件の内どちらかをクリアしている学校に限ります。

初めての実施を希望される場合は、1日程のプログラムからご検討ください。

また、寄付先NPOの候補は、実施校の都道府県域内を想定した地元の団体に限ります。

# 社会貢献教育ファシリテーターとは

社会貢献教育ファシリテーターとは、社会貢献教育に関する様々な教育プログラムを理解し、学校教育現場に社会貢献に関する教育プログラムを提供する案内役です。社会貢献に関する教育プログラムには、寄付に関するものやそれぞれの社会課題に関するものなど多数ありますが、1つの重要な共通点としては、子どもたちが社会の中で誰かや何かに必要とされている存在なんだ、ということが分かることで、自己肯定感を高めることにつながっている点です。

社会貢献教育ファシリテーターはこのことをよく理解した上で子どもたちに社会の中でかけがえのない役割を果たす人生を歩んでもらうために、授業を提供していきます。

ファシリテーター  
の要件

1. 社会貢献教育の全体像を把握している
2. 社会貢献教育に関するプログラムを適切に提供できる

提供できる  
プログラム

- 寄付の教室
- 社会に貢献するワークショップ

# カードゲーム「from Me」公認ファシリテーターとは

ファシリテーター養成講座を受講し、公認ファシリテーターになることで、本ゲームを用いたワークショップを主催・開催することができる制度です。「from Me」は、**寄付・投資・消費・貯蓄など様々なお金の使い方を通して自分のウェルビーイング（幸福）の向上とお金の使い方の関係性を疑似体験できるカードゲーム**です。

体験会へのご参加、公式ファシリテーター養成講座の受講を随時募集しております。詳細は以下より、ご覧ください。

公式Webサイト | <https://jfra.jp/fromme/>

イベント情報 | <https://jfra.jp/fromme/event>

